

「第 17 回小児神経症例検討会（蔵王セミナー）」

開催のご案内

拝啓 診療、研究にご活躍のことと存じます。

さて、遺伝子や画像診断技術の進歩した今日におきましても、難治性てんかんの治療法、発達障害の診断、治療、在宅人工呼吸管理の問題点、QOL、家族のフォローなど、小児神経疾患の診断や治療についての悩みや疑問は尽きません。このような診療上の問題点をお互いに呈示し、ざっくばらんに討論し、切磋琢磨する集まりを 16 年前から若手有志で始め、第 17 回を数えるまでになりました。

演題は、画像の解釈が中心となる「画像カンファレンス」と、それ以外の「一般演題」の他に、過去のセミナー提示症例で問題解決がなされた「事後報告」に分かれています。

①普段着で参加する、②最低一度は発言する（ヤジでも可）、③（発表や発言で）恥を多くかいた人ほど偉い、が蔵王セミナーの原則です。夜には、大学や施設、世代を越えて、温泉と地酒・地ワインを堪能し、縦と横のつながりを広げ深めていただくこともできます。初めての方もぜひお気軽にご参加ください。過去の演題は、下記ホームページからご覧いただけます。また、e-mail による小児神経関連の症例相談や情報提供を、蔵王セミナーメーリングリストとして行っております。ご加入は下記ホームページをご覧ください。

皆様のご参加および演題のお申し込みを心からお待ちしております。

敬具

2011（平成 23）年 11 月吉日

蔵王セミナー事務局：山形大学医学部小児科 加藤 光広
〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2
E-mail: mkato@med.id.yamagata-u.ac.jp
Homepage: <http://square.umin.ac.jp/shiihara/>

追伸 前回のプログラムを同封しましたので、ご参照いただければ幸いです。

第 17 回小児神経症例検討会（蔵王セミナー）開催要項

日時 2012 年（平成 24 年） 2 月 25 日（土曜日）午後 1 時～7 時
2 月 26 日（日曜日）午前 8 時 30 分～12 時
（演題数により時間変更）

場所 かみのやま温泉 月岡（つきおか）ホテル 山形県上山市新湯 1-33

電話 023-672-1212, FAX 023-672-1216, <http://www.tsukioka.co.jp/>

ホテルにはベビーシッターのいる託児施設がございます。詳細はホテルのホームページをご覧ください。

JR 山形新幹線 かみのやま温泉駅下車 徒歩 13 分, タクシー 3 分, 時間によりホテル送迎バスあり

飛行機 山形空港（東京、大阪便）から予約制乗り合いタクシーで山形駅へ（約 30 分）

山形駅から JR 奥羽本線かみのやま温泉駅へ（約 10 分）

仙台空港（札幌、小松、名古屋、大阪、広島、福岡、沖縄便）利用は仙台-上山間の高速バスが便利です。

詳しくは山交バス HP <http://www.yamakobus.co.jp/index.html> をご覧ください。

自動車 東北自動車道 村田 JC 経由 山形自動車道 山形蔵王 IC から R286-R13 南下 20km 25 分

または東北自動車道 福島飯坂 IC から R13 北上 75km 90 分

会費 3,000 円

宿泊・懇親会費 16,000 円（懇親会のみは 11,000 円）

日本小児神経学会専門医研修単位 出席 2 単位、発表（筆頭のみ）2 単位

演題と 1 次抄録 締め切り 12 月 22 日（金曜日）

参加申し込み 締め切り 1 月 27 日（金曜日）

蔵王セミナー参加申し込み方法：

E-mail で事務局（山形大学医学部小児科 加藤光広 mkato@med.id.yamagata-u.ac.jp）まで、1. 氏名（ふりがな）
2. e-mail アドレス（携帯電話不可） 3. 懇親会の有無 4. 宿泊の有無 5.（宿泊される方は）性別 6. 勤務先 7.
勤務先住所 8. 勤務先電話番号 9. 蔵王セミナー ML 登録の有無 10.（蔵王セミナー ML 未登録の場合）登録の可否（下
記☆参照）を書き添えてお申し込みください。グループで申し込まれる場合は、必ず**参加者各自**の上記事項 1-10（同
じ勤務先の場合は 6-8 は省略可）をお知らせいただくとともに、Cc:メールで送信者以外の参加者にも申込メールを転
送いただき、いつどのような内容で申し込まれたのかわかるようにしてください。通常 2-3 日中に参加者各自へ受
付確認のメールを返信をします。お申し込みから 1 週間過ぎても返事がない場合は、事務局宛再度ご連絡願います。

注）演題と参加の申込先は異なります。演題を申し込まれた方も、上記に参加申込のご連絡をお願いします。ご家族連
れの方は、ご自身で宿泊のご予約をお願いいたします。その際も、上記の方法で参加申し込みをお願いいたします。

セミナーは、討論中心です。参加者は、前もって 1 次抄録を蔵王セミナーホームページから入手し、症例の概要を
予習・把握した上でご参加願います。今回は指名発言を試行しますので、ご協力をお願いします。なお、2 月 20 日以
降の参加取り消しには、所定のキャンセル料が生じます。

☆蔵王セミナー ML について

600 人以上ご登録頂き、小児神経関連の情報交換、症例の相談等に活用されています。参加申込者で蔵王セミナー
メーリングリスト (ML) 未登録の方は、今後の蔵王セミナー関係連絡のため当 ML に登録させていただきます。氏名公開が
原則ですので、初回登録時は自己紹介をお願いします。既に登録済みの方、登録を希望されない方は参加申し込み時
にその旨お知らせ下さい。当 ML に関する具体的なことは <http://square.umin.ac.jp/shiihara/> をご参照下さい。不明
な点は蔵王セミナー ML 管理者 群馬県立小児医療センター椎原隆 shiihara-ind@umin.net にお問い合わせ下さい。

蔵王セミナー演題募集要項

A. 一般演題

診断や治療方法、症候・検査所見(画像を除く)の解釈で困っている症例についてプロジェクター(下記 F. 参照)と資料(下記 G. 参照)で呈示していただき、全員で討論します。時間は討論を含めて 30 分(症例呈示 5 分、討論 25 分)です。演題数によっては、15-20 分になることもあります。1 次抄録に要点をまとめ、討論に時間をかけられるように工夫して下さい。時間の制約上、1 施設 1 演題に限らせていただきます。画像が主体の演題は B. 画像カンファレンスにお申し込みください。不随意運動が主体の場合は、必ず動画をご用意ください。動画の提示は PC をご持参ください(下記 F 参照)。

B. 画像カンファレンス

MRI や CT、脳血流など画像上の問題点を講師(複数の神経放射線科医)と参加者により討論します。初日に画像をモニターで事前供覧し、グループに分かれてプロジェクターでスクリーンに映写して討論する時間を設けますので、DICOM 形式の CD をご持参下さい。PC など必要機材は事務局で用意します。今回からシャウカステンでのフィルム提示は中止になりましたのでご注意ください。翌日に、Powerpoint file にまとめていただいた主要画像(下記 F 参照)をスライド提示し、講師の解説後に全員で討論(一題 10 分前後)します。施設ごとの演題数に制限はありません。画像演題の中から 1~2 題については、UCSF の Jim Barkovich 先生に意見を求め、支障がなければ蔵王セミナー ML で公表する予定です。

C. 事後報告

過去の検討症例で問題が解決した症例の報告(検査結果、診断、治療経過、病理所見、文献上の新知見、他施設からの類似例)です。一題 15 分以内でお願いします。

D. 小児神経疾患クイズ

息抜きと研修を兼ねて、代表的な小児神経疾患の診断名を伏せた症例を呈示し、各々の力量を試していただきます。演題は幹事が準備します。

E. 演題申し込みと 1 次抄録送付方法:

期 限: 12 月 22 日(金曜日) 必着

演題及び 1 次抄録送付先: 東京都立神経病院神経小児科 熊田 聡子 <satoko_kumada@tmhp.jp >

e-mail で、演題分類(一般・画像・事後)と「何が問題なのか」・「何をセミナーで討論してほしいのか」を明記した抄録をご提出ください。抄録は、A4 1~2 ページで周囲の余白を必ず 2 cm 以上あけ、タイトル、発表者、疑問・討論点の次に症例概要を記載して、WORD または text file で保存してください。文字の大きさは 10.5 ポイント以上で、行間もやや空けてください。抄録のファイルサイズが 500KB 以下であれば、画像も掲載可能です。

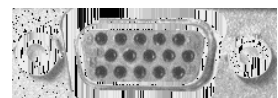
注) 抄録には氏名(イニシャルも不可)、生年月日、検査日、ID など討論に必要な個人情報は記載しないでください。第○病日、○日前など相対日時でお願いします。演題申し込み多数の場合は、先着および初参加施設を優先し、演題の採否および呈示方法について相談させていただく場合があります。

F. 提示用デジタルファイル:

一般演題、事後報告

原則的に、ご自身の PC 持ち込みをお願いします。

1. PC 付属の電源アダプター持参。



2. 会場でプロジェクターに接続するケーブルのコネクタ形状はMini D-sub15pinです(図)。

PC本体にこの形状の端子がついていない場合は、必ず変換コネクタをご持参下さい。

3. PCを持ち込めない方は、Microsoft PowerPointでプレゼンテーション用ファイルを作成し、e-mail添付で椎原隆 takc2006@gmail.com宛に送付して下さい。ファイルを受け取りましたら確認のメールを差し上げます。数日たっても返事が届かない場合は、確認の連絡をお願いします。MacでPowerPointファイルを作成した場合にはレイアウトが変わりますので、Windows上のパワーポイントで再生確認して下さい。会場で準備するPCは、OSがWindows XPとWindows 7、アプリケーションはPowerPoint 2003および2007ですので、同環境での事前動作確認をお願いします。

4. 動画は、ファイル形式によって上手く再生できないことがあるため、PCをご持参下さい。

画像カンファレンス

プログラム作成後、担当の画像講師をお知らせしますので、2月3日(金)までに画像をDICOM形式でCDRに保存の上、「蔵王セミナー検討用CD在中」と明記し、担当講師宛にお送り下さい。また、事前検討及び全体討論での映写のため、画像をパワーポイントのスライド5枚以内にまとめて、同日までに椎原隆 takc2006@gmail.com宛にファイル(サイズ上限25MB)をお送りください。画像以外の情報(病歴・診察所見等)は、1次抄録にまとめてください。MRIなどの白黒画像はグレースケールに変換し、患者氏名、生年月日、検査日、IDなど個人情報を除いてください(事前閲覧の為UMINサーバーにアップロードします)。会場で準備するPCは上記の通りです。

デジタルファイル提出期限：2月3日(金) 必着

送付先：群馬県立小児医療センター 神経内科 椎原 隆 TEL：0279-52-3551(代表) FAX：0279-52-2045
ファイル送付に関してご不明な点は、椎原(shi ihara-ind@umin.net)宛メールでお問い合わせ下さい。

(画像講師への送付先は、プログラム作成後筆頭演者にお知らせします)

G. 配付資料：

一般・画像演題ともに、病歴・検査データに加え鑑別診断など発表者の考えをまとめた配布用プリント(A4 または A3 で。プリント上部に演題番号と演題名をご記入ください)をご用意いただき、当日ご持参もしくは事前にホテル宛送付願います。初学者の参加も多いため、解説的な内容(鑑別診断・病態など)を含めてください。プリントのコピー部数は、参加者数確定後に連絡します。

H. 2次抄録：セミナー後、1次抄録の形式、A4 2ページで、セミナーでの討論点やセミナー後の結論などを加えた2次抄録を提出して下さい。製本・pdfにして配布します。なお、討論内容の要点を担当役員がまとめてお渡しする予定です。

2次抄録提出期限：3月16日(金)

送付先：国立病院機構西新潟中央病院小児科 遠山 潤 jtohyama@masa.go.jp

(前回) 第 16 回小児神経症例検討会(蔵王セミナー) プログラム

2011 年 2 月 11 日 (金) - 12 日 (土) :かみのやま温泉「月岡ホテル」
山形県上山市新湯 1-33 電話 023-672-1212

2月11日(金)

13:00 開会挨拶 会長 高嶋幸男(柳川療育センター)

セッションⅠ (13:05-14:35) 座長 亀井淳(岩手医科大学)

1.両側横隔膜麻痺と筋緊張低下による運動発達遅滞を呈した3歳女児例

千葉大学大学院医学研究院小児病態学

須山麻衣子、藤井克則、水落弘美、塩浜直、田辺良、遠藤真美子、内川英紀、河野陽一

2.変動する運動障害を呈した白質脳症の一例

国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹、同神経研究所疾病研究第二部²、

同神経研究所疾病研究第一部³、帝京大学付属病院小児科⁴

乾健彦¹、斎藤義朗¹、小牧宏文¹、齊藤貴志¹、中川栄二¹、須貝研司¹、佐々木征行¹、後藤雄一²、西野一三³、

埜中征哉³、荻田佳織⁴

3.激しい不随意運動と情動興奮を来し、髄液中の抗 GluRε2、δ2 抗体が陽性であった

非ヘルペス性急性辺縁系脳炎様経過を示した12歳女児例

東京医科歯科大学附属病院小児科¹、東京都神経科学総合研究所神経発達・再生²、

国立静岡てんかん・神経医療センター小児科³

白久博史¹、白井謙太郎¹、金子節子¹、菅原祐之¹、荒木聡¹、林雅晴²、高橋幸利³

～ 休憩&小児神経クイズの質問受付(投稿) (14:35-14:50) ～

セッションⅡ (14:50-16:10) 座長 青天目信(国立精神・神経医療研究センター病院)

4.発達遅滞、発育障害、てんかんを有する3歳男児

聖路加国際病院小児科 笠井恵美、小松なぎさ、荻原正明、真部淳、細谷亮太

5.大頭症を伴う発達遅滞の6カ月女児

名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野¹、宮城県拓桃医療療育センター小児科²

服部文子¹、小林悟^{1,2}、中島葉子¹、安藤直樹¹、伊藤哲哉¹

6.進行性の小脳失調症と Fanconi 症候群を呈し診断のついていない1例(第12回事後報告)

埼玉県立小児医療センター神経科¹、東京都立小児総合医療センター総合診療科²、

東京都神経科学総合研究所神経発達・再生³

大場大樹^{1,2}、林雅晴³、日暮憲道¹、南谷幹之¹、浜野晋一郎¹

～ 休憩&小児神経クイズの質問受付(投稿) (16:10-16:25) ～

セッションⅢ (16:25-17:55) 座長 村松一洋(群馬大学)

7.突然の右上腕の脱力を認め腕神経叢炎を疑う7歳女児

市立豊中病院小児科 木水友一、渡辺陽和、鈴木文子、土屋浩治、早島禎幸、茶山公祐、

川上展弘、吉川真紀子、徳永康行、松岡太郎

8.失調様歩行が進行性に出現している8才男児例

滋賀県立小児保健医療センター小児科¹、京都大学小児科²

下村英毅¹、加藤竹雄²

9.Rett 症候群に伴う著明な過吸気発作を呈し気管切開に至った一例

神鋼加古川病院小児科 佐々木香織

事務連絡 (17:55-18:00)

画像閲覧 (18:00-18:50) 小児神経クイズの質問回答(掲示)

情報交換会 (19:00-21:30)

二次会&画像閲覧 (21:30-23:00)

2月12日(土)

小児神経クイズの回答&解説 (8:15-8:45)

セッションⅣ (8:45-9:45) 座長 多田弘子(千葉県済生会習志野病院)

10.急速に退行し、頭蓋内石灰化病変を認める男児例

大津赤十字病院小児科 野崎章仁

11.<特定演題>早期ミオクロニー脳症・白質変性を合併し、橋小脳低形成を認めた症例

群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野¹、国立精神・神経医療研究センター

小児神経科²、山形大学小児科³

村松一洋¹、澤浦法子¹、浦野葉子¹、荒川浩一¹、須貝研司²、加藤光広³

～ 休憩 (9:45-9:55) ～

画像カンファレンス(一演題 12分)

セッションI (9:55-10:43) 座長 高梨潤一(亀田メディカルセンター)、大場洋(帝京大学)

1. <特定演題>無呼吸のため挿管管理となった microcephaly with simplified gyri and pontocerebellar hypoplasia 1か月女児症例

亀田メディカルセンター小児科¹、同新生児科²、千葉県こども病院神経科³、同新生児科⁴

湯浅正太¹、戸田壮一郎¹、高梨潤一¹、水谷佳世²、小俣卓³、三浦文宏⁴

2.脳神経障害、左片麻痺の急激な進行を認め、右延髄腹側に腫瘤性病変を認めた11歳男児例

国立成育医療研究センター神経内科

太田さやか、寺嶋宙、柏井洋文、星野英紀、久保田雅也

3.大脳形成異常、難治性てんかん、全身の筋力低下等多多彩な症状を呈する1例

国立病院機構西新潟中央病院小児科 大橋伯、小林悠、赤坂紀幸、遠山潤

4.難聴と脳形成異常を認める VLCAD 欠損症の一例

滋賀医科大学小児科学講座 龍神布紀子、松分久美子、吉岡誠一郎、高野知行、竹内義博

～ 休憩 (10:43-10:55) ～

セッションII (10:55-11:55)

座長 佐々木征行(国立精神・神経医療研究センター病院)、森壘(東京大学)

5.新生児期にてんかん発作を初発し、急速に脳萎縮が進行した Sturge-Weber 症候群の乳児例

東京都立神経病院神経小児科¹、同脳神経内科²、自治医科大学附属さいたま医療センター小児科³、東京都立神経病院脳神経外科⁴

漆葉章典^{1,2}、八谷靖夫¹、下田木の実¹、熊田聡子¹、栗原栄二¹、後藤珠子³、

日下部太郎⁴、森野道晴⁴

6.右半身の脱力発作を繰り返し、後日左半球の痙攣重積型脳症を発症した脳血管石灰化をもつ1例

東北大学病院小児科

守谷充司、佐藤優子、中山東城、久保田由紀、小林朋子、福與なおみ、植松貢

7.著明な動脈延長・蛇行と脆弱結合織を呈する2歳男児例

千葉大学大学院医学研究院小児病態学 本田喜子、須山麻衣子、水落弘美、塩浜直、内川英紀、東浩二、安川久美、藤井克則、河野陽一

8.重篤な症状はなく広汎な白質病変を認める8歳女児

富山大学医学部小児科¹、高志リハビリテーション病院² 宮一志¹、本郷和久²

9.急性脳炎様症状で発症した多相性 ADEM が疑われる11歳男児例

秋田大学大学院医学系研究科機能展開医学系小児科¹、市立秋田総合病院小児科²

豊野美幸¹、矢野珠巨¹、山田俊介¹、高橋まや²、小泉ひろみ²

11:55 閉会挨拶 国立精神・神経医療研究センター 埜中征哉